

冬期の給湯器の使い方

冬期（特に夜間）は給湯器内の水が凍結する可能性があります。

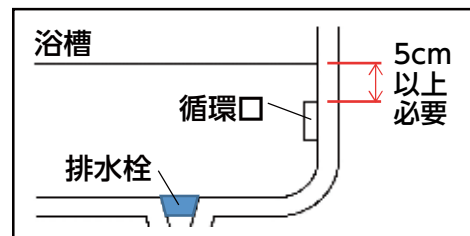
凍結は給湯器の故障の原因にも繋がります。給湯器本体には、あらかじめ「凍結予防ヒーター」と「自動ポンプ運転」の2つの凍結防止機能が備わっていますので、下記方法で凍結対策をお願いします。

※下記方法は一例です。詳しくは、お渡ししている各メーカーの取扱説明書をご確認ください。

1. 外気温が下がると自動的に給湯器内の配管を保温する「凍結予防ヒーター」が作動します。分電盤の電源が入っていること、給湯器のコンセントが抜けていないことをご確認ください。



2. 浴槽に右のイラストのように水を溜めます。循環口より5センチ上まで水を溜めれば「自動ポンプ運転」により給湯器内の水が循環し、外気温が低い時に凍結を防止できます。



3. 東北地方では右写真のように給湯器付近に「水抜き栓」が施工されている場合があります。この水抜き栓で「水を抜く」にハンドルを回すと給湯器内の水が全て排水されます。凍結する水が無くなるので、これも凍結防止方法のひとつです。蓋を開けるとハンドルがありますので、必要な方向に止まるまでまわしてください。

